

## 次期保健医療計画策定に係る地域編の見直しについて

## 1 現行の地域編の記載内容及び取組状況の概要

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
医療と介護 の総合的な 確保の推進	<p>（医療と介護の総合的な確保の推進が求められている背景）</p> <p>○ 二戸圏域の人口推計では、今後数年ほどは高齢者人口が微増するものの、その後は減少に転じ、むしろ高齢者を支える65歳未満の年齢層の大幅な人口減少が地域の課題になると見込まれています。</p> <p>また 2025 年には全国での独居者が700 万人になることなどを踏まえ、高齢者を地域で支えていく必要があります。</p> <p>〔二戸圏域の人口及び高齢者人口（介護保険第1号被保険者）の推移〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年の二戸圏域の総人口は 53,597 人（平成 29 年 10 月 1 日現在）であり、うち第1号被保険者数（65 歳以上）は 20,008 人（37.3%）を占めている。</li> <li>平成 32 年には、総人口 50,897 人、第1号被保険者数 20,149 人（39.6%）（推計）</li> <li>平成 37 年には、総人口 46,104 人、第1号被保険者数 19,603 人（42.5%）（推計）</li> </ul> <p>○ これらの変化等に対応するため、地域の限られた医療と介護の資源を活用して効率的かつ質の高い医療提供体制及び地域包括ケアシステムの構築が必要であり、そのために病床の機能分化と在宅医療を含めた医療と介護の連携を進め、介護保険施設等の整備計画を勘案しながら、二戸圏域における医療と介護の総合的な確保を推進する必要があります。</p> <p>（多職種の研修や住民に対する啓発の推進）</p> <p>○ 地域包括ケアシステムの構築推進のために、多岐にわたる医療職と介護職（多職種）連携は不可欠です。限られた人材で対応するため、在宅医療推進に係る多職種合同の研修や研究を推進し、事前指示書などによる終末期の対応への理解など住民に対する啓発をさらに進める必要があります。</p> <p>（療養者情報共有化の推進）</p> <p>○ 限られた医療資源を有効活用するために、医療・福祉・介護間での患者や利用者の情報共有化を図る必要があります。</p> <p>（高齢者の口腔と摂食嚥下の機能維持・向上）</p> <p>○ 口腔機能の低下や誤嚥性肺炎の予防等のためには、在宅療養者の適切な歯科受療が必要です。</p> <p>また、介護施設入所者や在宅受診困難</p>	<p>（カシオペア地域医療福祉連携研究会（ひめはたるネット）などの多職種連携の推進）</p> <p>○ カシオペア地域医療福祉連携研究会（ひめはたるネット）の構成員（多職種）が連携し、療養者に対するケアに関する研修、終末期やリヴィングウィルに関する研修や研究、事前指示書「HOTARU」の活用などによる住民に対する啓発に取り組みます。</p>	<p>【カシオペア地域医療福祉研究会（ひめはたるネット）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カシオペアフォーラム開催</li> <li>多職種連携に関する職員向け研修会</li> <li>ひめはたるネット活動</li> </ul> <p>【NPO法人カシオペア医療介護支援センター】</p> <p>○「カシオペアNET」を活用した広域型在宅医療連携拠点運営を目指して、特定非営利活動法人カシオペア医療介護支援センターを設立し、NPO 法人としての運営及び事業展開を開始した。</p> <p>【軽米病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>軽米町地域ケア個別会議、軽米町保健医療福祉連絡会議への参加</li> <li>カシオペア地域医療福祉連携研究会への出席</li> <li>二戸地域なやみ解決こころサポート事業地域連絡会議への参加</li> <li>軽米町と連携して家族介護教室開催</li> </ul> <p>【一般社団法人二戸医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療の推進及び多職種との連携推進に関する研修会の実施</li> </ul> <p>【二戸薬剤師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひめはたるネット中心に、有名な先生方をお呼びして定期的に講演会を開催。今後も定期的に、県立二戸病院 高橋副院長中心に、演者の選択や内容を協議していく。</li> </ul> <p>【二戸市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひめはたるネット及びカシオペア医療介護支援センター主催の研修会等の参加</li> </ul> <p>【軽米町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひめはたるネット及びカシオペア医療介護支援センター主催の研修会等の参加</li> <li>保健医療福祉連絡会の開催により、看取り支援や在宅医療に関する意見交換等を実施</li> <li>家族介護者教室の開催により町民への普及啓発等を実施</li> </ul> <p>【九戸村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カシオペア医療介護支援センターとの連携</li> <li>地域ケア個別会議に九戸地域診療センターから出席を頂き、多職種連携でケース支援実施</li> </ul> <p>【一戸町】</p>	<p>【NPO法人カシオペア医療介護支援センター】</p> <p>○「カシオペアNET」を活用した事業展開を行うためには、関係機関等の多くが理解し参加連携することが肝要であり、医療・介護・福祉の連携を図る活動を包括的に行うことが必要となる。</p> <p>【軽米病院】</p> <p>○町内の多職種の情報交換がスムーズに行われている。</p> <p>【二戸薬剤師会】</p> <p>○定期的な開催が出来ていることと、遠方からの参加者も多いことが評価。</p> <p>地域住民の方々には、斬新さが伝わって「自分らしさ」の考え方や、「看取り」の考え方も大きく変わっていると感じている。</p> <p>【二戸市】</p> <p>○ひめはたるネットに参加し、他職種との連携を図ることができた。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での研修や住民への啓発活動等が行えなかった。</p> <p>【軽米町】</p> <p>●コロナ禍で研修会等が減り、町外の専門職同士のつながりが深められなかった。</p> <p>【九戸村】</p> <p>○軽米病院との在宅医療介護医療連絡会や九戸地域診療センターとの連携により細やかな情報共有・支援ができた。</p> <p>○ひめはたるネットに参加し、多職種との連携を図ることができた。今後、ICT を活用したさらなる医療介護の連携を図る必要がある。</p> <p>●自宅で看取ることへの住民の意識がまだ低いため、ACP の普及啓発も含めて周知の必要がある。</p> <p>【一戸町】</p>	<p>〔二戸圏域の人口及び高齢者人口（介護保険第1号被保険者）の推移〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 4 年(2022)年の二戸圏域の総人口は 48,405 人（令和 4 年(2020)年 10 月 1 日現在）であり、うち第1号被保険者数（65 歳以上）は 20,181 人（41.7%）を占めている。</li> <li>令和 7 (2025)年には、総人口 46,104 人、第1号被保険者数 19,603 人（42.5%）（推計）</li> <li>令和 12(2030)年には、総人口 41,485 人、第1号被保険者数 18,507 人（44.6%）（推計）</li> </ul>

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
	<p>者のニーズに応えるため、在宅歯科医療と介護の連携を確保、強化することが求められています。 (認知症対策の推進)</p> <p>○ 圏域の認知症高齢者の数は、約 2,800 人（平成 29 年 3 月 31 日現在）で、介護保険第 1 号被保険者に対する割合は約 14%を占め、今後も増加することが予測されることから、支援を強化する必要があります。 (地域医療構想の達成に向けて)</p> <p>○ 圏域は、盛岡地域や八戸市など県外に流出している患者が多いことなどにより、介護施設・在宅医療等の追加的需要が多くなっています。将来的にこの追加的需要の受け皿を確保する必要があります。</p>	<p>(療養者情報の共有化システムの構築)</p> <p>○ 入退院時に医療機関や介護保険施設等が事前に療養者情報を事前把握することにより、医療機関からの退院調整や施設等から入院時の対応などを効率的、効果的に行うため、患者や利用者の情報共有化システムの構築について検討します。</p>	<p>・継続して二戸圏域のカシオペア地域医療福祉連携研究会への参加・協力</p> <p>・H29 より一戸町在宅医療推進会議を設置。県立病院、町内開業医院、歯科医院、薬局、介護や福祉事業所等包括的に設置した。</p> <p>【NPO法人カシオペア医療介護支援センター】</p> <p>・ICTを活用した情報共有化システムの運用を 2022 年から開始し、2023 年 6 月にホームページを開設し、情報共有と、そのシステムの普及促進に努めている。</p> <p>・2022 年度はカシオペアネットワーク通信を 1 号発行。2023 年度は定期発行を目指す。</p> <p>【一戸病院】</p> <p>・ひめぼたネットで作成した「カシオペア連携情報共有シート」により医療・介護の情報を共有している。</p> <p>・一戸町地域包括ケア会議にて情報交換している。</p> <p>・各種検討会、会議等へ出席。</p> <p>【一般社団法人二戸医師会】</p> <p>・NPO 法人カシオペア医療介護支援センターとの連携</p> <p>【二戸薬剤師会】</p> <p>○NPO 法人カシオペア医療介護支援センターが活動することが出来、第一歩を踏み出した。このシステムを二戸圏域で用いることで、減少している「医療資源」の有効活用と、要支援者に費やされる時間の有効活用にとっても有効な手段になる。今後の直近の課題は、適時に入所者を施設に送り込む手立ての構築になる。</p> <p>【二戸市】</p> <p>・ICT を活用した情報共有化システムの構築を行う NPO 法人「カシオペア医療介護支援センター」の運営支援。</p> <p>・二戸市ケア会議介護保険部会多職種連携連絡会議を開催し、情報の共有を図った。</p> <p>【軽米町】</p> <p>・保健医療福祉連絡会の開催により、患者や利用者の情報共有を効率的、効果的に実施。</p> <p>・カシオペア医療介護支援センター提供のツールを活用し、在宅医療介護の情報共有・連携を強化した。</p> <p>【九戸村】</p> <p>・軽米病院との在宅医療介護連絡会で通院・入院患者の情報を共有</p> <p>・九戸地域診療センターとの情報共有</p> <p>【一戸町】</p> <p>・情報共有シート作成を通し、管内の各関係者と関わる機会となった。</p> <p>・一戸町在宅医療推進会議を年数回開催(課題の抽出やグループワーク、研修会を開催した。)</p> <p>・一戸町地域包括ケア会議で情報共有することで多職種連携につながった。</p>	<p>○二戸圏域の多職種連携が構築できた。</p> <p>○一戸町の多職種連携強化につながり、顔の見える関係づくりが構築できた。一方で、コロナ感染症の影響で活動が停滞気味になってきた。</p> <p>【NPO法人カシオペア医療介護支援センター】</p> <p>○ICTを活用した情報共有化システム「カシオペアNET」により在宅の医療・看護・介護において、在宅での患者容態観察でリアルタイムな共有を行うことができるようになり、負担軽減につながる。</p> <p>○ホームページや広報によってNPO法人活動を広げること地域内におけるNPO法人の設立意義をアピールする。</p> <p>【二戸薬剤師会】</p> <p>○NPO 法人カシオペア医療介護支援センターが設立できたことは大きな実績ですが、今後「NPO活動内容の評価」を受けることになる。ホームページを今年度中に公表し、事業内容の有益性のPRを十分発揮していかないといけない。薬剤師会としての大命題である「薬剤の安定供給」を 24 時間体制で行う準備もしなければならない。そのために、薬剤師全員がACPを理解していく必要が有る。</p> <p>【二戸市】</p> <p>○ICT を活用した情報共有化システムの構築を行う NPO 法人「カシオペア医療介護支援センター」を設立が出来た。今後は、より一層医療・介護の連携を進めていく必要がある。</p> <p>○二戸市ケア会議介護保険部会多職種連携連絡会議を開催し、情報を共有することで、多職種連携につながった。</p> <p>【軽米町】</p> <p>○保健医療福祉連絡会を定期的に開催し情報共有を図ることで、地域医療と在宅介護の連携を促進する一助になっている。</p> <p>【九戸村】</p> <p>○連携により医療介護の顔の見える関係づくりが進み、連携が深まった。</p> <p>●退院後すぐに施設に入ることができない（一旦、自宅にもどらなくてはならない)</p> <p>【一戸町】</p> <p>○各取組を通して医療、福祉、介護など各関係機関の関係づくりが強化できた。</p> <p>●一戸町のネットワークと管内ネットワークの関係整理について難しいと感じる。</p>	<p>○ 圏域の認知症高齢者の数は、約 2,900 人（令和 3 (2021)年 3 月 31 日現在）で、介護保険第 1 号被保険者に対する割合は約 14%。</p>

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
		<p>（地域支援事業）</p> <p>○「地域支援事業」により要支援者や要介護状態となるおそれのある高齢者が、可能な限り地域において自立した生活を営むことができるよう支援します。</p>	<p>【NPO法人カシオペア医療介護支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な「カシオペアNETフォーラム」の開催</li> <li>・各市町村との連携を図るため、行政担当者連絡会議に参加し、地域懇談会等において健康維持などについて講演、NPO法人活動の認識を高める。</li> <li>・施設入所マッチングアプリのブラッシュアップ作業及び関係者への説明会の開催により使用拡大を図る。</li> </ul> <p>【一戸病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二戸地域自立支援協議会へ出席</li> </ul> <p>【二戸薬剤師会】</p> <p>薬剤師が出来る、在宅訪問時の業務の洗い直しをする。薬剤師の訪問については「時間制限はない」ことがメリットであり、良き話し相手になることや、他の職種の方々も苦労していることがあれば、お手伝いしたい。特に、服薬に関する薬剤の調整方法（嚥下困難、飲み忘れ防止対策など）の相談などは遠慮なくしてほしい。その他、自動血圧計による血圧測定や体温測定などの、可能な範囲で可能な手技のお手伝いを検討したい。</p> <p>【二戸市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議への出席。</li> <li>・住民主体により提供される通所型サービスBの実施。</li> <li>・緩和された基準による訪問型サービスAの実施。</li> <li>・生活支援コーディネーターの配置、第1層、第2層協議体の運営。</li> </ul> <p>【軽米町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1層協議体会議の開催</li> <li>・地域づくりに係る研修会等へ参加</li> <li>・地域のニーズを活かした仕組みづくり支援</li> <li>・普及啓発活動（広報誌の発行）</li> <li>・ボランティア養成講座の開催</li> <li>・第2層協議体形成に向けた地域への働きかけ。</li> <li>・地域ケア個別会議開催 年6回</li> </ul> <p>【九戸村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援体制として拠点の整備</li> <li>・拠点を中心としての生活支援活動</li> </ul> <p>【一戸町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年から住民主体の訪問型サービスを立ち上げ軽度の生活援助を実施。ボランティアの養成講座も開催。</li> <li>・生活支援コーディネーター等が調整役も担いながら地区の活動支援を実施。</li> </ul> <p>【二戸保健所】</p> <p>○歯科保健・医療・介護従事者研修会の開催</p>	<p>【NPO法人カシオペア医療介護支援センター】</p> <p>○カシオペア地域内の円滑な地域包括ケアシステムを運営していくため、広域型在宅医療連携拠点として、NPO法人が「カシオペアNET」を活用し連携を進めていくことになるが、関係機関等の理解と協力が必要となる。</p> <p>○地域住民がより医療及び介護を享受できる環境の整備を進める。</p> <p>【一戸病院】</p> <p>○より充実した支援システムとするため、訪問看護ステーション化について医療局と協議。</p> <p>【二戸薬剤師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅訪問をまだ経験していない薬剤師が居る。出会うチャンスがないこともそうだが、積極性や一人薬剤師と言う課題はなかなか解決できない。現実的な問題と「地域貢献」について、各店舗独自の展開を促していくようにしていきたい。包括支援センターとタイアップして、同行訪問を実行したい。</li> <li>○薬剤師が地域貢献する大きなテーマとして「予防」があると考えている。</li> <li>日常生活において、「予防」すること。これは生活習慣の見直しもですが、「健康診断の受診」の大切さを、国保保険のみなさんに伝えることも大きな役割と認識しています。受診率70%を目指したい。</li> </ul> <p>【二戸市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者の実態を把握し、個別ケースの検討から地域課題を把握する。</li> <li>●第1層協議体は設置できたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、第2層協議体の設置が進まなかった。</li> </ul> <p>【軽米町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ケア個別会議で個別事例について検討し、課題解決の一助になっているが、地域課題の抽出に結びついていない。</li> <li>●地域資源の不足が見られるため、地域資源の把握、確保が必要である。</li> <li>●住民の主体的な取り組みを促進するためのスキルや資源、担い手が不足している。</li> </ul> <p>【九戸村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活支援体制として拠点「ほずのいえ」を立ち上げたが、村中心地にあるため地域差が生じている。あと2箇所程整備する必要がある。</li> </ul> <p>【一戸町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新たなサービスにより住民支援の選択が増え、軽度要支援者へ早期対応につながった。</li> <li>●住民ボランティアの受講人数が減少し、更にボランティア数の地域格差がある。</li> </ul> <p>【二戸保健所】</p> <p>○口腔ケアによる介護予防を推進するとともに、介護予防従事者等の各専門職の参加及び交流により、二戸地域における地域包括ケアシステムの多職種間のさらなる連携を図ることができた。</p>	

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
		<p>（高齢者の口腔と摂食嚥下の機能維持・向上）</p> <p>○在宅や介護保険施設入所の高齢者への口腔ケアについては、二戸歯科医師会による施設や市町村包括支援センターの職員に対する研修や指導を実施し、施設のかかりつけ歯科医師の導入などを推進します。</p>	<p>【NPO法人カシオペア医療介護支援センター】</p> <p>○歯科・口腔ケアアプリ（仮称）の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師と連携しながら作成</li> </ul> <p>【一戸病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護時に必要に応じて口腔ケアを実施し、かかりつけ医の受診が必要と思われる患者についてはケア・マネージャーに連絡して受診を進める等取り組んでいる。</li> </ul> <p>【二戸歯科医師会】</p> <p>○研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種で取り組む高齢者の健康づくり。</li> <li>・特養老人ホームでの歯科医療や指導、感染症の拡大予防に対応した口腔ケア。</li> <li>・口腔機能低下予防のためのオーラルフレイルの研修会などを実施。</li> </ul> <p>【二戸市】</p> <p>○高齢者の食支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低栄養予防に関する講話の実施。</li> </ul> <p>○高齢者の口腔と摂食嚥下の機能維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師による歯科健診・口腔機能向上のための講話の実施。</li> <li>・歯科衛生士による歯科健康相談・口腔体操の実施。</li> </ul> <p>【軽米町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生士の配置による、より専門的な支援につながった。</li> <li>・地域ボランティアによる事業展開を図った。</li> <li>・庁舎内外の関係機関と事例検討等の連携を図りながら、地域全体と個別ケアも大切にしながらの具体的な支援を行うことができた。</li> </ul> <p>【九戸村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔機能向上教室「元気歯つらつ教室」を開催し、歯科医師による講演及び歯科検診を実施</li> <li>・介護予防教室で口腔機能向上に関する保健師の講話</li> </ul> <p>【一戸町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防の取組で、地区サロンや教室などで歯科衛生士による講話や口腔検査を毎年実施している。</li> <li>・歯科衛生士による訪問を実施している。</li> </ul> <p>【二戸保健所】</p> <p>○歯科保健・医療・介護従事者研修会の開催</p>	<p>【NPO法人カシオペア医療介護支援センター】</p> <p>○歯科・口腔ケアについてもICTアプリによる情報共有を行うことができるようにするため、歯科医師と連携しながら作成を進める。</p> <p>【二戸歯科医師会】</p> <p>○参加者の意識向上には繋がった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多職種が継続的に交流できるネットワークづくりも必要。</li> </ul> <p>【二戸市】</p> <p>○高齢者の食支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設職員やヘルパー、食生活改善推進員に対し介護食や食支援について知識の共有を図る。</li> </ul> <p>○高齢者の口腔と摂食嚥下の機能維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・66歳、70歳の節目年齢の歯科健診の受診率の向上</li> <li>・口腔機能と摂食嚥下の機能維持及び向上</li> </ul> <p>【軽米町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅や、介護保険施設に対しての歯科専門職の介入が不十分である。</li> <li>●コロナ禍ということもあり、口腔ケアに携わる職員への研修が行われていない。</li> </ul> <p>【九戸村】</p> <p>○在宅の介護食を支援するネットワークが構築され、家族介護の負担軽減につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●村内の歯科医院がなくなり高齢者の歯科受診が困難になっている。</li> </ul> <p>【一戸町】</p> <p>○口腔衛生の重要性について徐々に理解されてきているが、一方で行動変容につながりにくく、今後も機会を捉えて継続して活動する必要がある。</p> <p>【二戸保健所】</p> <p>○口腔ケアによる介護予防を推進するとともに、介護予防従事者等の各専門職の参加及び交流により、二戸地域における地域包括ケアシステムの多職種間のさらなる連携を図ることができた。</p>	
		<p>（認知症対策の推進）</p> <p>○認知症地域支援推進員や認知症サポーターにより、認知症の人やその家族を支援します。また、認知症初期集中支援チームの活動により、自分で医療機関を受診できない認知症患者やその家族を支援します。</p>	<p>【軽米病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症看護認定看護師を活用した認知症ケアの充実</li> </ul> <p>【一戸病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症初期集中支援チーム」の活動に参加。</li> <li>・もの忘れ予防教室の実施（週1回）</li> <li>・もの忘れ外来の実施</li> <li>・「重度認知症患者デイ・ケア」を開設し実施している。</li> <li>・令和3年4月1日岩手県認知症疾患医療センター指定。</li> </ul>	<p>【軽米病院】</p> <p>○認知症患者が増えており、精神科と連携した認知症看護認定看護師の活躍が期待される。</p> <p>【一戸病院】</p> <p>○認知症対策かつ、高齢者自殺防止対策として実施している「重度認知症デイ・ケア」の利用者については徐々に増加している。圏域高齢者の自殺率は高く、本デイ・ケアは、「安心して半日生活できる居場所」であり、希死的思考者・自殺未遂者を見守り、リハビリにより「生きる喜び」を見</p>	

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
			<p>【一般社団法人二戸医師会】 ○認知症の人への支援体制の構築を図ることを目的とし、かかりつけ医を対象とした適切な認知症診療に関する研修会を実施。</p> <p>【二戸薬剤師会】 ・一戸病院認知症疾患医療センターの紹介を継続化する。 ・認知症薬剤を服用している患者さんのご家族へ、センターの紹介、異常行動があることに、ただ悩まない様と同センターを利用して欲しい旨アナウンスを続ける。</p> <p>【二戸市】 ・認知症地域支援推進員の配置 ・認知症カフェの開催 ・認知症初期集中支援チームの設置 ・認知症を知り共に支える市民セミナー ・認知症家族のつどい ・キャラバンメイトによる孫世代のための認知症講座開催 ・認知症ケアパスの作成</p> <p>【軽米町】 ・認知症初期集中支援チームの運営 ・認知症地域支援推進員や認知症サポーターにより普及啓発に関する事業を実施。（認知症カフェ、認知症サポーター養成講座、家族介護者教室、認知症キャラバンメイト交流会、認知症本人のつどい等）</p> <p>【九戸村】 ・九戸地域診療センターと多職種連携連絡票により、認知症の可能性のある住民を早期に発見 ・認知症カフェの開催 ・一般住民に向け認知症サポーター養成講座を開催</p> <p>【一戸町】 ・平成 29 年度から認知症地域支援推進員を配置し、多世代へ向けた様々な取組を実施している。 ・認知症の早期発見、早期医療のため医療機関とも連携。定期の会議等を通し関係強化につながった。 ・認知症家族への支援として定期的なサロンを開催した。</p>	<p>出すことを期待したものである。 ●しかし、送迎等の問題により利用できない方がいることから、各市町村等関係機関へ引き続き、周知等していく。</p> <p>【二戸薬剤師会】 ○一戸病院認知症疾患医療センターの紹介は一定程度ご紹介が出来た。 ●課題は、患者さんの変化の状態の変化を「認知が進んだ」と感じるのが「症状が進んでしまってから気付く」という点です。 「普段と変わった話をするとか、動作や声の大きさなどに変化はないですか」と聞くようにしています。</p> <p>【二戸市】 ○認知症初期集中支援チームの設置により、自分で医療機関を受診できない認知症患者を医療につなぐことはできた。 ●新型コロナウイルス感染症の影響により、市民セミナーや認知症講座などの開催ができなかったことにより、市民の認知症に対する理解を深めることができなかった。</p> <p>【軽米町】 ○認知症初期集中支援チーム利用を推進していくために、医療機関との連携強化が必要。 ○普及啓発に関する事業は、徐々に回数を増やしており、認知症について理解を深める機会となっている。事業を通じて、本人の声を聞いているが、それを活かした事業や施策展開は不足している。</p> <p>【九戸村】 ○認知症が疑われるケースや継続治療が必要なケースには、一戸病院への交通手段の困難さの対応策としてタクシー助成が開始された。また、九戸地域診療センターへの精神科医師派遣も頂き、状況が大きく改善されたところではあるが、今後の課題として、初期集中支援チームを活用しながら、更なる認知症ケアを充実する必要がある。</p> <p>【一戸町】 ○認知症対策の事業を通し、多世代の地域住民、医療や介護等の関係者等、町全体の包括的な取組に繋がっていると感じる。今後も活動を継続して認知症対策を推進していく。 ●対策の一方で、認知症への偏見が根強く中々支援に繋がらない、若年性認知症の対策が不十分など課題がある。</p>	

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
		<p>（地域医療構想の達成に向けて）</p> <p>○ 圏域における病床機能の区分（高度急性期、急性期、回復期及び慢性期）ごとの将来の病床必要数（必要病床数）に基づき、医療機関等による協議や病院の自主的な取組により、病床機能の分化と連携を進めていきます。</p> <p>○ 二戸圏域における在宅医療資源や介護資源の現状などを踏まえ、追加的需要を考慮しながら、在宅医療等の体制整備に取り組みます。</p> <p>○ 県立病院では、地域包括ケア病棟・病床の導入などにより、急性期を経過した患者及び在宅療養を行っている患者の受入や患者の在宅復帰支援等を進めていきます。</p>	<p>【二戸病院】 当該システムの円滑な運用</p> <p>【軽米病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医機能を担いながら、高次病院との連携の構築</li> <li>・令和元年12月より、地域包括ケア病床を12床から21床へ増床し、回復期機能の体制の継続</li> <li>・令和2年4月より、療養病床の入院料の上位基準を取得し、慢性期の患者の引き受け拡大と経営安定化の取り組み</li> <li>・急性期一般病床・地域包括ケア病床・療養病床の3つの機能を生かし、急性期を経過した患者及び在宅療養の患者の受入、患者の在宅復帰支援等。</li> <li>・令和3年5月より軽米町のコロナワクチン集団接種へ、医師・看護師・薬剤師を派遣。</li> <li>・軽米町保健医療福祉連絡会の定期開催による、対象者への幅広い支援体制。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、入院の受け入れ困難な期間があった。</li> </ul> <p>【一戸病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年1月病床再編（一般36床、包括12床、精神147床、感染4床、計199床）</li> <li>・令和4年10月 認知症治療病棟開設（40床）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症への対応（外来、入院患者受入）</li> </ul> <p>【一般社団法人二戸医師会】</p> <p>○在宅医療の推進及び多職種との連携推進に関する研修会の実施</p> <p>【二戸歯科医師会】</p> <p>○研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種で取り組む高齢者の健康づくり。</li> <li>・特養老人ホームでの歯科医療や指導、感染症の拡大予防に対応した口腔ケア。</li> <li>・口腔機能低下予防のためのオーラルフレイルの研修会などを実施。</li> <li>・二戸病院（月2回歯科ラウンド実施）</li> <li>・軽米病院（月1回歯科ラウンド実施）</li> <li>・2018、2019は一戸病院でも月1回実施。2020から新型コロナウイルス感染症のため中断中</li> </ul> <p>【二戸薬剤師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOカシオペア医療介護支援センター事業展開に協力。</li> <li>・ターミナルケアにおける無菌製剤を積極的に応需していく。</li> </ul> <p>今後、待機者も増える様子なので、無菌操作研修も行っていきたい。</p>	<p>【軽米病院】</p> <p>○今後においても、医師不足、人口減少等様々な課題が予想されるが、二戸病院、久慈病院の後方支援病院として、また、岩手県北地域における療養病床を活用した慢性期・回復期医療と、介護・福祉連携の継続的な取組が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●軽米町では在宅医療の体制が不十分であり、今後取り組んでいく必要がある。</li> <li>●ACP（人生会議）への取組も重要と考えている。</li> </ul> <p>【一戸病院】</p> <p>○自院主体の（県営）介護医療院が開設可能か検討中。医療局・県長寿社会課・一戸町・二戸地区広域行政事務組合と協議中。</p> <p>【二戸歯科医師会】</p> <p>○参加者の意識向上には繋がった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多職種が継続的に交流できるネットワークづくりも必要。</li> <li>●急性期病院では期間対応に限りがある。</li> <li>●転院、転所後に関する連携。</li> </ul> <p>【二戸薬剤師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●薬剤師科内でも「ひめほたるネット」に参加している人員しか知らない状態です。</li> </ul> <p>ホームページが完成した際に、全員に「お気に入り」に登録してもらいます。</p> <p>ここから、ACPや在宅訪問への参画、24時間医薬品安定供給体制について議論を本格化したい。</p>	

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
生活習慣病の予防対策の推進	<p>（生活習慣病予防対策が求められている背景）</p> <p>○生活習慣病の死亡率は、高齢化の進展に伴い増加傾向です。一方、年齢調整死亡率などの指標は、減少傾向にあるものの、全国平均との比較では依然として高い状況にあります。</p>	<p>（生活習慣病対策全般）</p> <p>○「対策は予防に尽きる」ことから、定期健診・がん検診受診率向上及び保健指導の推進など生活習慣病の予防及び悪化防止に取り組みます。</p>	<p>【軽米病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病教室の開催</li> <li>小児健康教室「にこにこ教室」の開催</li> <li>高校生への健康教室の開催</li> <li>夜の健康教室の開催</li> <li>軽米町糖尿病重症化予防健康教室の開催</li> <li>なんでも相談開設</li> </ul> <p>【一戸病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣予防健診の実施</li> <li>健診当日の特定保健指導の実施</li> </ul> <p>【一般社団法人二戸医師会】</p> <p>○糖尿病専門医による高校3年生を対象とした生活習慣病予防に関する普及啓発</p>	<p>【軽米病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により開催が中断している取組項目がある</li> </ul> <p>【二戸歯科医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普段の生活において予防の認識向上にはつながっている。</li> <li>継続する事の意識づけがさらに重要。</li> </ul> <p>【二戸薬剤師会】</p> <p>○特定検診受診率は、波はあるが「初めて受診した方」「数年ぶりに受診した方」が数名新たに受診者が増えた。</p> <p>○保健師の方々からは、「薬剤師という立場で話されると、しっかり話を聞く方が増えている」という意見を頂いた。</p> <p>○特定検診を健康診断＝車の定期点検ではなく、「車検」と同じイメージを変えながら、「いつまでも、健康でいましょう」と声掛けを行い、受診時の採血や尿検査は健康診断ではないことを理解いただくようにする。</p> <p>○老人クラブなどでの寺子屋、薬剤講習会などでも「特定検診とは」「特定検診を受けるとどんなメリットが出るか」なども紹介していく。</p>	<p>○二戸圏域の主な死因別年齢調整死亡率の推移 資料4-1 表①参照</p>
	<p>○＜肥満＞ 小中学校及び高等学校の肥満傾向の児童・生徒の出現率は、全ての調査対象学年で県平均を上回っています。</p> <p>○＜喫煙＞ 管内の小中学校、高等学校等の敷地内禁煙化割合（H28）は100%であり県（98.8%）を上回っています。一方で市町村本庁舎の分煙化率は50%で、県内で最も低い分煙化率となっています。（県84.8%）</p>		<p>【二戸歯科医師会】</p> <p>○成人期歯周病予防事業 各年度で高齢者施設あるいは事業所における歯周病予防に関する講話、実技指導。</p> <p>【二戸薬剤師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政と検討会を重ねることで、取り組み内容を「特定検診受診率アップ」という内容に決定。</li> </ul> <p>特定検診を勧めて受診率が上がることで、医療費抑制にもつながる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「特定検診」と言われると、正直引く方が多い。「健康診断です」と言うと「そうなんだ」と納得いただける。しかし、「健康診断なら、月に1回開業の先生で採血やおしっこなんか調べてもらっているから、大丈夫でしょう」と言う返事。開業の先生で行っている検査は簡易検査だという違いを説明することが大変であった。</li> </ul> <p>そこで、「検査項目」をしっかりとお伝えする事の展開方法に変更して、現在まで来ています。</p> <p>【二戸市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診及びがん検診の実施</li> <li>特定健診及びがん検診の受診率向上のための取組の実施</li> </ul> <p>【軽米町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診、各種がん検診の受診率向上</li> <li>未受診者の過去の受診行動に応じた文面の受診勧奨</li> <li>健康状態不明者を対象に家庭訪問での受診勧奨</li> <li>夕方・休日の健診や個別健診を導入し、受診者の利便性を図った。</li> <li>健診後の医療機関受診勧奨の強化と受診状況把握の体制整備</li> <li>広報誌に若年向けの受診勧奨の記事掲載</li> </ul> <p>【九戸村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健診結果による要医療者への受診勧奨と受診結果の把握</li> <li>がん検診受診勧奨と用精密検査者の受診勧奨</li> </ul> <p>【一戸町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診・各種がん検診の受診勧奨</li> </ul>	<p>【二戸市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診及びがん検診の受診率向上</li> <li>生活習慣病の予防及び重症化予防</li> </ul> <p>【軽米町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未受診者や健康状態不明者への受診勧奨、夕方・休日健診や個別健診導入の取組は新型コロナの影響により受診率増加には繋がっていないが、特に若い年代で個別健診の利用者が多く、受診者は年々増加傾向にある。個別健診を選択する理由としては「都合の良い日を選べること」や「待ち時間が少ないこと」（意識調査結果より）があり、幅広い年代に適した受診環境とするため、今後も個別と集団の両方の選択肢が必要である。</li> </ul> <p>【九戸村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定検診受診率 H30（47.8%）から R3（49.2%）と微増。</li> <li>がん検診の受診率は住民全員対象になったため、受診率が大幅に減少した。胃 H30（30.8%）から R4（14.9%）、大腸 H30（56.1%）から R4（26.1%）</li> <li>がん検診はすべての受診率が低下。若年層の受診者増が必要。</li> </ul> <p>【一戸町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去2年間未受診への受診勧奨により約1割の人が受診。</li> </ul>	<p>○児童・生徒の肥満の出現率 資料4-1 表②参照</p>

二戸圏域の主な死因別年齢調整死亡率の推移

年	総人口 (不詳人口を除く)	年齢調整死亡率(※不詳人口を除く人口10万対) ※順位は、岩手県内9医療圏中のワースト順位																
		悪性新生物				心疾患(高血圧性を除く)				脳血管疾患				肺炎				
		総数	順位	男	女	総数	順位	男	女	総数	順位	男	女	総数	順位	男	女	
平成18	64,195	104.2	9	139.5	79.7	7	80.2	3	115.9	47.5	65.4	2	91.3	46.9	44.7	1	77.8	25.0
平成19	63,167	126.0	7	185.2	85.0	7	83.7	1	119.3	52.2	56.3	7	78.2	39.1	39.8	1	54.9	28.0
平成20	62,101	129.0	4	177.6	96.0	2	88.3	1	131.0	51.5	56.4	5	78.6	38.8	41.9	1	73.8	23.9
平成21	61,071	108.8	9	154.8	77.4	1	81.2	1	117.9	53.5	71.1	1	98.0	48.3	41.8	1	70.8	24.1
平成22	60,546	127.3	8	185.5	86.7	2	82.5	2	126.6	45.3	50.2	6	72.4	33.8	42.2	2	74.5	21.9
平成23	59,651	133.1	3	188.0	90.6	8	79.6	1	115.8	51.0	50.5	8	55.4	48.4	46.1	1	67.2	34.2
平成24	58,736	127.2	5	176.0	90.4	2	85.5	1	111.7	63.6	48.7	6	55.6	43.1	43.5	1	84.3	15.3
平成25	57,856	139.4	2	184.6	104.3	2	82.7	4	99.6	31.3	42.7	8	48.5	36.8	32.7	1	61.4	12.1
平成26	56,783	130.3	3	183.6	90.3	8	69.7	2	101.3	44.3	55.4	2	81.0	36.3	27.7	3	43.4	19.8
平成27	55,683	117.3	7	178.4	75.6	3	66.2	3	95.6	41.3	40.1	6	54.3	27.6	35.4	1	56.7	21.4



圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3～5年度は特定健診未受診者調査実施</li> <li>・要医療・要精密検査者の受診勧奨</li> <li>・R2年度から受診結果連絡票の内容を変更し、医師から指導の指示があった者に対して指導を実施。</li> <li>・R2年度から若年健診の対象者を19歳に拡大し実施</li> <li>・広報等で生活習慣病予防の知識の普及啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受診者が固定化している。</li> <li>●健診の質問票で就寝前2時間以内に夕食を摂る人の割合が県や全国と比較すると男女ともかなり高い結果である。</li> </ul>	
		<p>（脳卒中・心血管疾患対策）</p> <p>○＜予防＞ 血圧の適正化のため、塩分の適量摂取については、地域の食に関わる企業、飲食店などとの連携による一層の環境整備を進めます。また、住民への広報活動や健康教室・健康相談などの一層の充実を努めます。</p> <p>○＜応急手当、病院前救護＞ 脳卒中の早期受診の必要性など住民に対する啓発を積極的に行っていきます。また、12誘導心電図伝送システムやメディカルコントロール体制の確保・充実を促進し、急性心筋梗塞や脳卒中の救命率及び社会復帰率の向上に取り組みます。</p>	<p>【軽米病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理栄養士による栄養指導の実施</li> <li>・多職種連携モデル事業による、高血圧の患者さんの受診勧奨の取り組み</li> </ul> <p>【一戸病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・24時間救急体制により、症状により二戸病院や岩手医大等に救急搬送している。</li> </ul> <p>【一般社団法人二戸医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○セミナーの開催・後援</li> </ul> <p>【二戸市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○脳卒中予防事業</li> <li>・推定塩分摂取量調査等による栄養・保健指導の実施。</li> <li>・精密検査対象者の受診勧奨。</li> <li>・講演会や教室の開催、個別指導を通して高血圧に関する知識の普及。</li> <li>・妊娠中に塩分チェック試験紙を配布し指導を実施。</li> <li>・健康レシピを毎月19日に発行。</li> </ul> <p>【軽米町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○減塩普及事業</li> <li>・地区栄養講習会実施</li> <li>・食生活改善推進協議会の協力で尿中塩分摂取量調査実施</li> <li>・小中学校親子料理教室の実施</li> <li>・スーパー等と協働した普及啓発</li> <li>○高血圧対策</li> <li>・血圧高値の人へ医療機関受診勧奨と保健指導実施</li> <li>・食生活改善推進協議会の協力で尿中塩分摂取量調査実施</li> <li>・脳卒中予防の地区健康教室実施</li> <li>・重症化リスクの高い者に対し短期集中型健康教室を実施</li> <li>○早期受診</li> <li>・健康教育で脳卒中の早期受診啓発</li> <li>○予防</li> <li>・全額助成する50歳人間ドックに脳ドックの選択を追加</li> </ul> <p>【九戸村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区巡回型栄養教室の実施</li> <li>・病態別教室の実施</li> <li>・健診結果により生活習慣病ハイリスク者を対象とした健康教育の実施。</li> <li>・健診結果説明会を開催し、個別集団の健康教育の実施</li> </ul> <p>【一戸町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で地区健康教室の回数も減少したが、高血圧や減塩についての健康教室を実施</li> </ul>	<p>【二戸市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○栄養指導による食生活の改善によって脳卒中等の予防が図られる。</li> <li>○働き世代に対して減塩に関する意識を高める。</li> <li>○減塩教室の対象者を児童・生徒へ広げることができた。</li> <li>○生活習慣病の予防及び重症化予防</li> </ul> <p>【軽米町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○血圧高値の方を対象とした医療機関受診勧奨及び保健指導では、白衣高血圧の方が多く、受診に繋がらない人が半数以上であったが、保健指導により家庭血圧測定の定着や生活習慣の改善に繋げることができた。</li> <li>○脳卒中予防の地区健康教室は町内全地区で実施し、受講者の98%が「健康に関心が深まった」、95%が「受講後に健康管理のため取組んでいることがある」と回答しており、自己健康管理の実践に繋がる効果的な事業となった。</li> <li>●しかし、参加者の約5割は後期高齢者であり、脳卒中予防に加え、フレイル予防も視野に入れた幅広く浅い内容となった。より効果的な実施とするため、今後は重症化リスクの高い対象にテーマ別の掘り下げた内容を複数回コースで実施する必要がある。</li> </ul> <p>【九戸村】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一次予防、二次予防ともに教室参加者が固定化している。</li> <li>●コロナのため集会型健康教室の実施が困難だった。ハイリスク者へのアプローチが主だった。</li> <li>●単発的な健康教室の実施が主となり継続的な支援ができていない。</li> </ul> <p>【一戸町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●血圧がC判定の方の受診率が約7割である。普段は高くないからという理由で受診につながらない方が多い。</li> </ul>	



圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
			<p>・商業施設や健診会場、イベント会場等で普及啓発のため減塩のリーフレットを配布</p> <p>・特定健診で推定塩分摂取量測定検査の実施</p> <p>・血圧高値者に対する保健指導の実施</p> <p>・若年健診（19歳から39歳の住民対象）により肥満・糖・血圧等の有所見者に対する保健指導の実施</p> <p>【二戸地区広域行政事務組合消防本部】</p> <p>○住民に対して心肺蘇生法の普及啓発</p> <p>○12誘導心電図伝送による、循環器疾患の早期発見・早期治療</p> <p>【二戸保健所】</p> <p>○県民主体の健康度アップ支援事業</p> <p>・企業対抗チャレンジマッチ等</p> <p>○脳卒中予防街頭キャンペーン</p> <p>・にのへ健康フェスティバル等</p> <p>○減塩リーダー養成講習会</p> <p>○減塩・野菜たっぷりヘルシーメニュー推進事業</p> <p>○外食栄養成分表示登録店等推進事業</p> <p>○「いわて減塩・適塩の日」促進事業</p> <p>○カシオペア健康ニューズレターの発行</p>	<p>●特定健診時の推定塩分摂取量測定結果では目標値以内の人は男性18.8%、女性12.1%と低い状況である。</p> <p>【二戸地区広域行政事務組合消防本部】</p> <p>○2019～2022年は、コロナ禍のため心肺蘇生法講習会がほとんど開催できなかった。2023年からは、コロナ5類移行に伴い、コロナ前と同様に救急講習を開催していきたい。</p> <p>○12誘導心電図伝送を行うことにより、二戸病院での処置開始時間の短縮に繋がった。</p> <p>【二戸保健所】</p> <p>○給食施設の従事者を対象とした減塩リーダー養成講習会を実施したことで、施設における食塩摂取量を減少または目標量に近づけることができた。</p> <p>○脳卒中予防街頭キャンペーンを実施したことで、広く県民に減塩・適塩の重要性を普及することができた。</p> <p>○カシオペア健康ニューズレターを発行することで、管内事業所及びその従業員に対して、脳卒中をはじめとする生活習慣病予防について普及できた。</p> <p>○徐々に減塩に取り組む県民は増加してきているが、健康いわて21プラン（第2次）で定める食塩摂取量の目標値を達成するにはさらなる減塩が必要。引き続き、普及啓発を行い、減塩・適塩に関する知識及び意識の醸成を図る。加えて、運動等の食事以外のアプローチや誰しもが自然に減塩できる環境の整備に取り組んでいく。</p>	
		<p>（糖尿病対策）</p> <p>○＜予防＞「健康いわて21プラン」（第2次）に基づき、若年期から食生活や運動に留意した健康的な生活習慣の定着、肥満防止等により糖尿病の予防を推進します。</p> <p>○＜早期発見・早期治療＞糖尿病は早期発見、早期治療が重要であることから、今後も特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上に向けた取組を推進します。</p> <p>○＜悪化・合併症防止＞糖尿病連携手帳を活用した自己管理の徹底と情報の共有による医療連携に取り組めます。</p>	<p>【軽米病院】</p> <p>・看護の日と世界糖尿病デーの取り組みとして、血糖測定や、生活習慣病予防の啓蒙活動を実施。</p> <p>・糖尿病看護認定看護師や日本糖尿病療養指導士、慢性疾患看護専門看護師による患者への面談・フットケアを実施。</p> <p>・糖尿病合併症予防指導や糖尿病透析予防指導を実施。</p> <p>・糖尿病性腎症重症化予防の取り組み</p> <p>【一戸病院】</p> <p>・当該疾患の受診患者について指導・管理し、合併症の発症や悪化防止に努めている。</p> <p>【一般社団法人二戸医師会】</p> <p>○医療関係者を対象とした研修会の企画・実施</p> <p>○市町村関係者との情報共有</p> <p>【二戸歯科医師会】</p> <p>・各医療機関での糖尿病連携手帳歯科部位の記入、歯周病との関連の説明。</p> <p>【二戸薬剤師会】</p> <p>・岩手県事業の糖尿病性腎症悪化防止対策事業については、医師会とも協議しながら進めていますが、国保のデータとリンクさせたい県の考えと、実際に患者さんから出ている実例処方検討を進めてはどうかと言う二戸薬剤師会の提案も採用されないでいる状況。</p>	<p>【軽米病院】</p> <p>○現在、日本糖尿病学会認定教育施設となっているため、地域に出向き生活習慣病予防に取り組んでいる。糖尿病認定看護師が、院外の医療機関とも交流を広げ、地域に出向いて糖尿病予防活動をしている。</p> <p>●糖尿病の医療体制については、専門的な治療・指導を実施する医療機関が少ないため、糖尿病連携などの充実が課題である。</p> <p>ただし、地域へ出向いての取り組みは、今後の新型コロナウイルス感染症の状況次第である。</p> <p>【二戸歯科医師会】</p> <p>●糖尿病連携手帳を配布されていない方もいるので、その連携の取り方。</p> <p>【二戸薬剤師会】</p> <p>●岩手県事業の糖尿病性腎症悪化防止対策事業については、担当者が突然交代と言う事態になったうえ、新型コロナウイルスの影響で、膝を突き合わせての話し合いが出来なかったことが大きな誤算でした。</p> <p>今後、薬剤師会が提案している「患者同意がある、減薬し</p>	

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
			<p>・糖尿病悪化防止、腎症にならないために、などいろんな演題で医師会の研修会が開催。薬剤師会も研修会に参加させて頂きCKDの研修を重ねている状況。</p> <p>・学校給食アンケートの実行については、行政のお手伝いが必要だが、なかなか「個人情報の取り扱いになる」とのことで、なかなか進展できない状態になっている。マークシート方式とIPADでの解答と集計ができるメリットを最大限に活用したい。</p> <p><b>【二戸市】</b> ○糖尿病対策 ・健康診断の実施 ・健診結果から医療受診が必要な方に対する受診勧奨の実施 ・生活改善に関する保健指導の実施 ・講演会や教室の開催や個別指導を通して糖尿病に関する知識の普及を図る。 ○肥満対策 ・保育施設や学校と連携した個別肥満指導の実施。</p> <p><b>【軽米町】</b> ○肥満対策 ・小中学校親子料理教室の実施（若年期からの生活習慣病予防推進） ・学校保健との連携により個別指導実施 ○糖尿病重症化予防 ・宿泊施設を利用した糖尿病重症化予防事業 ・体験型健康教室実施 ・糖尿病性腎症重症化予防のため、医療機関受診勧奨及び保健指導を実施 ・町民全体の運動量増加を目的に、かるまい健康ポイント事業を実施 ・学校保健との連携により個別指導を実施 ・児童クラブで料理教室・食育教室を実施 ・町内保育園等で食育教室実施 ・健康的な食習慣の普及（ケーブルテレビ、広報誌等）</p> <p><b>【九戸村】</b> ・健康診断結果により糖尿病ハイリスク者への健康教育。 ・健診結果、有所見者への受診勧奨</p> <p><b>【一戸町】</b> ・糖尿病所見C判定の者に対し受診勧奨 ・R2年度から受診結果連絡票の内容を変更し、医師から指導の指示があった者に対して指導を実施</p>	<p>たい処方例（ポリファーマシー→多剤性腎症害）についての、処方減薬の情報交換会を実施することで、「患者同意」以外に障害となる問題も見えてくる可能性が有る。現時点での「データをどこから持ってきた」という経緯の検証に、いつまでこだわっているのか。ここが最大の課題になっています。</p> <p>○学校給食のアンケート調査については、かなり合理的な作業効率化が図られる。しかし、個人情報の扱いとなるとの見解が出ている二戸市が今後どのような見解を示してくれるか。現在待っている状況です。 進展が見られない場合、残りの町村教育長との面談で課題をクリアし、本年度は秋口には実施する予定。</p> <p><b>【二戸市】</b> ○糖尿病対策 ・糖尿病の早期発見、早期治療 ・糖尿病の予防及び重症化予防 ・集団や個別指導を実施し、糖尿病の予防・改善を推進する。 ・市内クリニック患者様へ個別指導を実施し、健康意識の向上を図ることができた。 ○肥満対策 ・肥満指導を通して家族全体で食生活を見直す機会を提供していく。また、幼児期からの肥満対策を強化する。</p> <p><b>【軽米町】</b> ○宿泊施設を利用した糖尿病重症化予防事業では、専門職が食事や運動、自己血糖測定などの指導を行う体験型健康教室であり、宿泊を共にすることで参加者同士の仲間意識が生まれ、自然と健康づくりに前向きになっていた。参加者の高まった意識を継続させるための事業計画が必要である。また、回数を重ねるごとに参加者の固定化が見られたため、周知の仕方や対象者選定について検討する必要がある。 ○かるまい健康ポイント事業は、健康無関心層へのアプローチや健康的な生活習慣継続のための動機づけを目的として実施した。参加者からは「楽しく無理なく生活習慣の改善ができた」、「自然と健康づくりへの意識が高まった」などの感想があり、好評であった。しかし、コロナ禍であったためポイント付与の対象となる事業に限られてしまい、参加者が限定されたため、多くの方が参加できるよう計画する必要がある。</p> <p><b>【九戸村】</b> ●ハイリスク者への受診勧奨を行っても受診しないケースが多い。 ●糖尿病予防に特化した事業を充実させることができない。（スタッフが不足しているため） ○要精密検査者には家庭訪問や電話連絡にて状況把握と受診勧奨を実施している。</p> <p><b>【一戸町】</b> ○受診勧奨をしても未受診の方がおり、継続して受診勧奨することで、受診につながった方もいる。 ●HbA1c 有所見者が多い。</p>	

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病重症化予防事業の実施</li> <li>・若年健診の結果、肥満・糖・血圧等の有所見者に対する保健指導の実施</li> <li>・生活習慣病・歯科に関する健康教育の実施</li> <li>○肥満対策</li> <li>学校保健との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内養護教諭との情報交換会の実施</li> <li>・児童保育施設との連携</li> <li>・児童の歯科・肥満・発達等の課題について情報交換の実施</li> <li>・児童及び保護者に対する個別指導の実施（学校医の指示による）</li> </ul> </li> <li>【二戸保健所】</li> <li>○県民主体の健康度アップ支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業対抗チャレンジマッチ等</li> </ul> </li> <li>○事業所出前講座</li> <li>○カシオペア健康ニュースレターの発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童、生徒の肥満者の割合が管内でも高く、学校保健と連携した取組が必要である。</li> <li>【二戸保健所】</li> <li>○事業所向けの出前講座を実施することで、働き盛り世代の健康づくりを推進できた。</li> <li>○カシオペア健康ニュースレターを発行することで、管内事業所及びその従業員に対して、糖尿病をはじめとする生活習慣病予防について普及できた。</li> </ul>	
		<p>（喫煙対策）</p> <p>○ 受動喫煙による健康被害を防止するため、多くの住民が利用する市町村本庁舎等公共施設の禁煙化を進めることが重要です。また、未成年者や妊産婦等も利用する飲食店、宿泊施設等の禁煙・分煙化を食品衛生協会やホテル旅館業組合等と協同で取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【軽米病院】</li> <li>・禁煙のパンフレットを設置</li> <li>【一戸病院】</li> <li>・敷地内全面禁煙実施（H27.2～）</li> <li>【二戸薬剤師会】</li> <li>・保険薬局敷地内での喫煙禁止案内を掲示。</li> <li>【二戸市】</li> <li>・たばこの害についてポスター等を掲示</li> <li>・禁煙指導の実施</li> <li>・敷地内全面禁煙の実施</li> <li>【軽米町】</li> <li>受動喫煙防止</li> <li>・特に母子への影響についての取り組み</li> <li>【九戸村】</li> <li>・役場本庁舎・分庁舎での分煙</li> <li>・受動喫煙防止の啓発セミナー</li> <li>【一戸町】</li> <li>・H30 は一部の出先機関を除き屋内禁煙。その後、R1より受動喫煙の防止のため、本庁舎、出先機関とも敷地内全面禁煙とし継続している。</li> <li>【二戸保健所】</li> <li>○禁煙・分煙飲食店・喫茶店登録事業</li> <li>○事業所出前講座</li> <li>○禁煙週間等における普及啓発</li> <li>○施設管理者等の説明会</li> <li>○飲食店等巡視指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【軽米病院】</li> <li>●職員の喫煙率は県内で一番となっている。</li> <li>【二戸薬剤師会】</li> <li>○保険薬局敷地内での喫煙禁止案内を掲示。</li> <li>【二戸市】</li> <li>○喫煙者の減少</li> <li>【軽米町】</li> <li>○妊娠を機に禁煙する者を含め、妊婦の喫煙率は0%となったが、育児の途中で再び喫煙する者がある。</li> <li>【九戸村】</li> <li>●役場本庁舎は喫煙所の設置により分煙化に成功したが禁煙にはいたっていない。</li> <li>【一戸町】</li> <li>○敷地内全面禁煙を継続することにより、受動喫煙を防止することができている。</li> <li>【二戸保健所】</li> <li>○禁煙週間の取組等を通じ、広く県民に受動喫煙対策について周知できた。</li> <li>●禁煙場所での喫煙行為に係る通報もあることから、引き続き普及啓発に努める必要がある。</li> </ul>	

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
<p>医師等医療従事者や介護従事者の確保による医療・介護体制の充実</p>	<p>（医師等医療従事者や介護従事者不足の背景） ○ 二戸圏域の医療機関に勤務する医師数は、112.2人（H26、人口10万対197.4）と9圏域中6位となっており、医師の確保が重要な課題となっています。 ○ 診療科別では、常勤医の少ない診療科及び常勤医のいない診療科があるなど、地域完結型医療を推進する上での課題となっています。 ○ 看護職員は、看護師数413.3人（同727.6）で9圏域中7位、准看護師数100.3人（同176.6）で9圏域中3位となっています。 ○ 今後、介護サービスの需要が増大し、介護支援専門員などの介護職員が不足することが見込まれることから、介護従事者の確保が必要となっています。 （在宅医療の推進） ○ 圏域では、訪問診療や往診を実施している医療機関がありますが、在宅療養支援診療所がない状況であり、マンパワー不足や24時間対応の困難さなどの課題があります。 （周産期医療の充実） ○ 産科医、小児科医の不足や地域偏在など県北地域の周産期医療を取り巻く厳しい環境に対応するため、周産期医療機関の機能分担と連携を一層進め、妊娠のリスクに応じた適切な周産期医療を提供する必要があります。 （回復期機能を有する病棟の確保及びリハビリテーションの充実） ○ 圏域には、脳血管疾患、大腿骨頸部骨折等の患者に対して、医療や介護サービス等との連携のもとで様々なリハビリテーションが提供されていますが、リハビリテーションを集中的に行うための回復期リハビリテーション病棟がない状況です。</p>	<p>（医師等医療従事者確保の推進） ○ 今後、「地域枠」で医学部に入った学生が、医師として県内で従事することから、医師不足地域に確実に配置されるよう県・医療局・大学等に対し地域一体となって働きかけていきます。 ○ 将来的に二戸地域を希望する医師を育てるため、県立二戸病院を中心とする協力研修病院や協力施設とともに臨床研修体制を充実することにより、地域と一体となった医師確保体制を構築します。 ○ 医師による中学校に出向いての講座や病院における医療現場体験や看護体験を実施します。 ○ 医療従事者の負担を軽減し、住民も医療の担い手であるという認識のもと、地域医療を支える住民参加の取組を推進し、医師をはじめとする医療従事者を守り育てる意識を高めます。</p>	<p>【二戸病院】 ○ 初期臨床研修医の受け入れ及び育成（1年次3名） ○ 医療職養成施設における実習施設として各分野での受け入れ</p> <p>【軽米病院】 ・ 岩手医大生の地域医療研修、実習の受入 ・ 臨床研修病院（協力型）として、初期臨床研修医の受入 ・ 臨床実習受入（岩手県立大学、岩手保健医療大学等） ・ 看護学生の職場実習受入 ・ 中学生、高校生の医療現場体験の開催</p> <p>【一戸病院】 ・ 臨床研修病院（協力型）として、初期の精神科の臨床研修医を受入。 ・ 専門医研修プログラムにおいて、総合診療科及び精神科の専門研修連携施設として協力。 ・ 中学校出前講座の開催（看護職員） 一戸中学校で実施予定 ・ ふれあい看護体験 ・ 各部門での実習生の受入</p> <p>【二戸薬剤師会】 ○ 浄法寺中学校で、「薬物乱用防止講座」の中に「メディアの正しい使い方」を盛り込んでいった。 ・ 学校長へ「メディアの正しい使い方」を別建てで講座として開催してはどうかと提案。了解を頂き、毎年開催してきた。</p> <p>【岩手県看護協会二戸支部】 ○ 看護の日 看護の日のイベントとして、各病院・訪問看護ステーションにおいて、中学生を対象にふれあい看護体験を開催している。 ○ 研修会の開催（2回～3回/年） 対象：看護協会員 ○ 高齢者施設への出前研修会の開催 講師：認定看護師</p> <p>【二戸市】 ○ 医師等医療従事者確保の推進 ・ 地域医療の充実・医師確保について、県への要望や、東北市長会を通じた国への要望を行った。 ○ 市町村医師養成事業負担金（岩手県国保連） ・ 県内の県立病院及び市町村立病院等の医師として業務に従事しようとする者に対する修学資金を貸し付けるための市町村負担金を支出した。</p> <p>【軽米町】 ・ 市町村医師養成事業負担金（岩手県国保連）の拠出をおとした奨学金養成医師の育成 ・ 岩手県国保連への養成医師配置の要望の提出 ・ 町村要望に於いて、地域医療の確保を要望</p> <p>【九戸村】 ・ 市町村医師養成事業負担金の拠出を通じて奨学金要請医</p>	<p>【二戸病院】 ● 新型コロナウイルス感染症の対策により活動自体の中止を余儀なくされた。With コロナでの開催検討が課題（可否判断含め）</p> <p>【軽米病院】 ○ 医療に関心を持ってもらい、将来的に二戸地域に勤務を希望する医療従事者の確保に努める。 ○ 奨学金養成医師の配置が進んでおり、それらの医師が働きやすいように、二戸圏域として受け入れ体制を整えていく必要がある。（地域の特産品の贈呈、施設利用券の贈呈など）</p> <p>【二戸薬剤師会】 ○ 浄法寺中学校を皮切りに「正しいメディアの使い方」を学校薬剤師の研修講座の一環として軌道に乗せる。 ○ 2023年度二戸薬剤師会総会において事業展開として了承されたが、今後各学校長の了解と担当薬剤師への教育する段取りを取っていかないといけない。教育長と相談していく。</p> <p>【岩手県看護協会二戸支部】 ○ 看護の日のイベントを通じて、看護職（医療職）に興味を持ってもらい、将来の職業選択に活かしてほしいという思いで毎年企画を行っている。看護職の人材不足が課題にもなっているため、今後も継続し取り組んでいく。 ○ 研修会・出前研修の開催 二戸圏域の看護・介護の質向上と、それぞれの役割發揮のために、また、高齢者施設で働く職員の方に対しては、出向いて研修を行う等し、多くの会員・非会員対象にたくさんの方に参加していただけるように企画し取り組んでいく。</p> <p>【二戸市】 ● 地域医療の充実と医師確保について、県立病院等に配慮をいただき連携して取り組んでいるが、全国的に医師不足が課題となる中、医師確保体制の確立までには至っていない。今後も国県に対し働きかけていく必要がある。 ○ 市町村医師養成事業負担金（岩手県国保連）については、医師養成と負担軽減の面から、地域一体での継続的な支援が必要である。</p> <p>【軽米町】 ○ 医師の確保は当町にとっても、町民の医療、保健を守るための重要課題である。今後も関係機関と協力して取り組んでいく。</p> <p>【九戸村】 ● 九戸地域診療センターの外来診療医師の増員確保</p>	<p>○ 医療従事者の推移 資料4-1 表③参照</p>

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
			<p>師育成を図る</p> <p><b>【一戸町】</b> ○市町村医師養成事業負担金（岩手県国保連）の拠出を通じて奨学金養成医師育成を図る</p> <p><b>【二戸保健所】</b> ・岩手県医学生奨学金制度の啓発 ・岩手県看護職員修学資金貸付制度の啓発</p>		
		<p>（在宅医療の推進） ○訪問診療、訪問看護、訪問歯科診療などの在宅療養者や家族のニーズに対応した在宅医療体制を確保するために、医療と介護との連携体制の強化や人材の育成などに取り組みます。</p>	<p><b>【軽米病院】</b> ・訪問診療の継続と維持 ・訪問看護ステーションとの連携</p> <p><b>【一戸病院】</b> ・令和3年4月1日 在宅医療科を開設 ・一戸町在宅医療推進会議へ看護師等多職種出席 ・令和5年2月 在宅療養支援病院届出</p> <p><b>【一般社団法人二戸医師会】</b> ○在宅医療の推進及び多職種との連携推進に関する研修会の実施</p> <p><b>【二戸歯科医師会】</b> ○研修会の実施 ・在宅ケアの現状と課題、在宅医療から地域医療を考える等を実施。</p> <p><b>【二戸薬剤師会】</b> ・岩手県からの委託事業で、「ヘルパーとの同行訪問」を実施しました。以前から連携を取っていたので、事業展開するのに手間もかからず実行できた。 ・在宅を経験している薬剤師は少ないですが、同行する事での気付きは、同行したヘルパーさんから褒められたそうです。少ない医療資源に薬剤師もなっていくために、更に取り組んでいきたいと考えております。</p> <p><b>【二戸市】</b></p>	<p><b>【軽米病院】</b> ●在宅療養を継続していくためのマンパワー不足が懸念される。</p> <p><b>【一戸病院】</b> 訪問診療件数 平成30年度 133件 令和1年度 259件 令和2年度 395件 令和3年度 454件 令和4年度 458件 訪問看護件数 平成30年度 4,049件 令和1年度 5,132件 令和2年度 7,911件 令和3年度 10,079件 令和4年度 11,414件</p> <p><b>【二戸歯科医師会】</b> ○歯科が関われる事の認知度向上。 ●各職種間の連携の取り方・ネットワークづくりが継続的に必要。</p> <p><b>【二戸薬剤師会】</b> ○在宅事業を行う薬剤師が増えてきたことに、うれしく思っています。しかし、まだ在宅の依頼が少なく、在宅未経験薬剤師がいます。介護医療への参画を薬剤師会は目指しています。 ヘルパーさんが抱えている業務の手助けに少しでもなれると思います。お声を掛けて頂いて、要介護者の更なる生活の質の向上のお手伝いが出来ればと思います。 ○自宅での看取りが増えてくるのではと考えています。早い時期に、ACPの理解を薬剤師会で研修会を行いたいと考えています。人の尊厳を考えることで、自宅で最期を迎える意味を分かる研修もしたい。 ○在宅用の無菌操作が増えてくると感じています。薬剤師会で、希望があれば無菌相違差の研修会を行いたいと思います。又、該当患者さんがおりましたら、調製準備が可能ですのでご連絡いただければ薬剤調整を行い、患者宅への訪問を行います。薬剤師の行動範囲をさらに広げていきたい。</p> <p><b>【二戸市】</b></p>	

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
			<p>・在宅介護されている方の歯科口腔相談及び訪問の実施</p> <p><b>【軽米町】</b>          ・保健医療福祉連絡会や研修会等を通じて、医療と介護との連携体制の強化を図った。          ・保健医療福祉連絡会開催時、介護保険事業所空き状況について情報提供を実施。</p> <p><b>【九戸村】</b>          ・地域ケア会議に九戸地域診療センターや二戸訪問看護ステーションから同席いただき連携強化を図った。          ・管外事業所より理学療法士を派遣いただき月2回個別のリハビリ教室を開催。要介護状態の予防に努めた。</p> <p><b>【一戸町】</b>          ・一戸町地域包括ケア会議の実施          ・H29より一戸町在宅医療推進会議を設置。県立病院、町内開業医院、歯科医院、薬局、介護や福祉事業所等包括的に開催した。</p>	<p>○口腔機能の低下及び疾病の早期発見、早期治療をすることで誤嚥性肺炎などの関連疾患を予防することが出来る。</p> <p><b>【軽米町】</b>          ○保健医療福祉連絡会や研修会を通じ、医療と介護との連携体制の強化につながっているため、今後も連携を強化していく。</p> <p><b>【九戸村】</b>          ●介護分野の人材育成の取り組みが必要          ●リハビリに関する資源不足が課題であり、地域での外来リハや通所リハ・訪問リハが必要          ○個別リハビリ教室の継続</p> <p><b>【一戸町】</b>          ○会議を通して医療、介護、保健、福祉機関との連携を図った。          ○他職種連携強化につながり、顔の見える関係づくりが構築できた。活動の中から訪問看護必要性の声があり、一戸病院へ在宅医療科、24時間訪問看護の立ち上げに至った</p>	
		<p>（周産期医療の充実）          ○全国的に産科医師が不足していることを踏まえ、地域で安心して出産できるよう妊婦の交通費や宿泊費を行政が支援する、産前・産後ケア事業に取り組むなど、地域全体で妊産婦を支える取組みを進めます。</p>	<p><b>【一般社団法人二戸医師会】</b>          ○県北周産期研究会開催への協力</p> <p><b>【二戸市】</b>          ・子育て世代包括支援センターの設置          ・母子健康手帳交付及び全数相談          ・妊産婦・乳児検診、新生児聴覚検査費用助成          ・産前産後サポート事業（育児教室等）          ・産後ケア（育児の手技についての指導及び相談、乳房ケア等）          ・妊産婦交通費助成          ・各関係機関との会議棟の開催</p> <p><b>【軽米町】</b>          子育て世代包括支援センターの設置により、周産期を含む母子保健の個別対応と、関係機関連携などによる地域全体で母子を支える体制の充実を目指した。</p> <p><b>【九戸村】</b>          ・子育て世代包括支援センター運営          ・妊産婦にかかる費用の助成</p> <p><b>【一戸町】</b>          ・思春期講座の開催          ・妊産婦健康診査交通費助成          ・産後ケア事業の実施</p>	<p><b>【二戸市】</b>          ○保健師、助産師が妊娠期から継続して支援したことにより、顔の見える関係を構築することができ、妊産婦及び、その家族の悩みや不安の軽減につながった。          ○専任の保健師、助産師を設置し、妊娠期から手続きがワンストップで出来る体制を構築し強化した。          ●医療的ケア児等が地域で安心して生活できるように医療機関等の関係機関とさらなる連携が必要である。</p> <p><b>【軽米町】</b>          ○ハイリスク妊婦について、産科の医師、助産師等周産期医療スタッフとの連携により、事故なく出産とその後の育児につなぐことが出来た。          ●産科医師の不足のなか、地域で妊産婦を支えるための社会資源も不足していることが課題である。</p> <p><b>【九戸村】</b>          ●産後ケア等における社会資源がないため子育て世代包括支援センターの活動に限られる          ○妊産婦にかかる費用の助成は手厚くなってきており、認知もされてきている。</p> <p><b>【一戸町】</b>          ○子育て包括支援センターの設置により、妊産婦を支える行政の支援体制が整備された。</p>	

圏域の重点 取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	現行計画期間（2018～2023）における主な取組の概要	現行計画期間（2018～2023）における取組の効果・課題	備 考
		<p>（回復期機能を有する病棟の必要性及びリハビリテーションの充実） ○ 急性期から回復期、維持期への円滑な移行を図るため、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟など回復期機能を有する病棟の必要性を協議するとともに、病期に応じたリハビリテーションが実施できるよう医療従事者の確保と資質向上に努め、地域の状況に応じた医療・介護連携及び多職種連携の体制構築を図ります。</p>	<p>【二戸病院】 ・急性期から回復期までを支える病院作り ・地域包括ケア病棟の健全な運営、存続</p> <p>【軽米病院】 ・令和元年12月より、地域包括ケア病床を12床から21床へ増床し、回復期機能の体制の継続</p> <p>【一戸病院】 ・地域包括ケア病床12床を設置（回復期）、地域ケア病床に専従のリハビリテーションスタッフを配置。 ・一戸町地域包括ケア会議への参加 ・医療・介護連携及び多職種連携 各種研修会</p> <p>【一般社団法人二戸医師会】 ○リハビリテーション従事者研修会への参加</p>		
		<p>（介護従事者の確保支援） ○ 市町村が、介護支援専門員などの介護専門職の資格取得の支援について検討するなど、地域包括ケアシステム構築に資する人材を地域全体で育成する取組を進めます。</p>	<p>【軽米町】 ・実習生受入により、人材育成 ・介護支援専門員資格取得等助成金の周知説明</p> <p>【九戸村】 ・中学校において介護福祉職についてのPR活動を実施した。</p> <p>【一戸町】 ○H30年度から、町内介護施設と一戸町で「一戸町介護職員等確保対策協議会」を設置し各PR活動など実施した。</p>	<p>【二戸広域介護支援専門員協議会】 ●介護職員から介護支援専門員へスキルアップしたいと思うが、給与等の問題、業務量・内容により介護支援専門員として従事することを希望しない者が多いこと。 助成事業があるものの、資格取得も希望しない者が多いこと。 その為、二戸広域介護支援専門員協議会会員が年々減少している。</p> <p>【軽米町】 ○実習生受入により、人材育成を行った。 ○介護支援専門員資格取得等助成金の周知を継続する。</p> <p>【九戸村】 ○認知症講座と抱き合わせで介護職から仕事の魅力、やりがいについて講話をいただき、介護の仕事への興味を持ってもらう取り組みを継続する。各事業所と連携して行っていきたい。</p> <p>【一戸町】 ○町内の小中学生に対して福祉教育を行うことで、介護に興味を持ってもらい、将来の介護人材確保につながることを。</p>	